

国際交流シンポジウム

日本とウクライナ 遠くて近いパートナー 歴史・挑戦・未来

Japan and Ukraine
Distant yet Close Partners
Historical Ties, Contemporary Challenges
and Future Perspectives

2025年

2月28日 金 16:00
19:00

参加費無料(要参加申し込み)

2月27日(土)正午・締切
右コードのフォームよりご登録ください。



法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナードタワー26階A会議室
(千代田区富士見2-17-1)

法政大学大原社会問題研究所とウクライナ国立科学アカデミー世界史研究所は、過去数年間に渡る両機関の友好的学術交流の成果を共同論文集『日本とウクライナ:遠くて近いパートナー—歴史・挑戦・未来』にまとめ、来る2025年3月に大原社会問題研究所叢書の枠組みで法政大学出版局より刊行を予定している。これを記念して、両研究所は東京とキーウをオンラインで繋ぎつつ、本国際会議の二都市同時開催を企画した。会議の第一部では叢書に収められた諸研究成果報告が行われる。会議第二部では、2022年2月末より今なお続く、ロシアによるウクライナへの本格的な軍事侵攻のもとで、戦時下のウクライナでいったい何がおこっているのか、長引く戦争の下での人びとの生活の実態などに焦点をあて、現地ウクライナからの基調報告と自由討論を行う。

プログラム

第一部

日本・ウクライナ共同叢書『日本とウクライナ 遠くて近いパートナー 歴史・挑戦・未来』刊行を記念し、本書に収められている研究成果報告、とりわけウクライナ側の執筆者らによる「ロシアによるウクライナ侵攻後の日本によるウクライナ支援」、「ウクライナ国立科学アカデミーと日本の学術交流史」、「ウクライナと日本の原子力発電事故への対処をめぐる協力など」に関する研究報告を予定している。

第二部

戦時下のウクライナ：
ロシアによる軍事侵攻のもとで一体何が起きているのか？

1. 基調報告

- ① アンドリー・クドリャチェンコ 教授
(ウクライナ国立科学アカデミー世界史研究所所長)
- ② ミコラ・フェセンコ 教授
(同研究所上級研究員、政治学者、マリウポリ出身)

2. 自由討論

主催

OISR
since 1919



法政大学
HOSEI University

法政大学大原社会問題研究所

協賛



ウクライナ国立科学アカデミー
世界史研究所

登壇者

アンドリー・クドリャチェンコ Andrii Kudriachenko
(ウクライナ国立科学アカデミー世界史研究所所長、教授)

ヴィクトリヤ・ソロシェンコ Viktoria Soloshenko
(ウクライナ国立科学アカデミー世界史研究所副所長、准教授)

ナタリヤ・ソロシェンコ Natalia Soloshenko
(キーウ・ウクライナ国立防衛大学講師)

イエウヘン・O・プリーピク Yevhen O. Prypik
(ウクライナ国立科学アカデミー世界史研究所上級研究員)

ミコラ・フェセンコ Mykola Fesenko
(ウクライナ国立科学アカデミー世界史研究所上級研究員、教授)

鈴木 玲
(法政大学大原社会問題研究所教授)

進藤理香子
(法政大学経済学部教授、法政大学大原社会問題研究所副所長)

惠羅さとみ
(法政大学社会学部准教授、法政大学大原社会問題研究所兼任研究員)

伊東 林蔵
(法政大学大原社会問題研究所兼任研究員)

大和田悠太
(法政大学大原社会問題研究所嘱託研究員、一橋大学大学院社会学研究科特任講師)

根岸 海馬
(法政大学大原社会問題研究所嘱託研究員、日本女子大学人文社会学部学術研究員)

総合司会 鈴木 玲 根岸 海馬

※ウクライナの都合により、プログラムの内容が変更になる可能性があります。

